



『ポリファーマシー』について

たくさんのおくすりを飲んでいませんか？

ポリファーマシーとは

多くの薬を服用しているために、副作用を起こしたり、きちんと薬が飲めなくなるなど、多剤服用の中でも害をなすものをポリファーマシーといいます。
※単に薬剤数が多いことではありません。

なぜ薬が増えるの？

多くの病気や体調不良などで複数の医療機関や診療科を受診することにより、処方された薬全体の把握や管理が難しくなることから、それぞれで似た成分の薬を処方されることがあります。



なぜ副作用が起こりやすいの？

加齢や病気などにともない肝臓や腎臓の働きが弱くなると、薬を分解したり、体の外に出したりするのに時間がかかるようになりま
す。そのことから、複数の薬が影響しあい、薬が効きすぎたり、効かなかつたり、副作用が出やすくなること
があります。

特に、高齢者は加齢にともなう体や内臓の変化がみられ、複数の薬を服用することが、物忘れや転倒、便秘などの有害な副作用の原因となつていきます。

どうしたらいいの？

- ・ 1冊のお薬手帳で全ての薬をまとめる。(電子版お薬手帳もあります)
- ・ 薬が変わった、薬が追加された時は、いつもと違う症状がないか注意しておく。

- ・ 勝手に薬をやめたり、減らしたりせず、かかりつけ医やかかりつけ薬局に相談する。

- ・ 薬を処方する医師、調剤をおこなう薬剤師やさまざまな支援者と情報を共有しておく。

- ・ その他、薬についての疑問があれば、かかりつけの医師や薬剤師にご相談ください。

